



Japan Wi-Fi

@クラウド連携の個別パッチ

@クラウド連携のパッチ適用後の変更点

@クラウド連携のパッチ適用後の変更点

1. 仮認証設定の追加

基本設定タブの「オプション設定」にて以下の項目が追加されます。

仮認証設定※	仮認証時間:	<input type="text" value="3"/>	分
	1認証あたりの仮認証回数の上限:	<input type="text" value="3"/>	回
	上限オーバー時の制限時間:	<input type="text" value="1440"/>	分

【仮認証設定】

仮認証時間 : 仮認証の有効期間を指定します。(デフォルト: 3分)

仮認証上限回数: 仮認証の上限回数を指定します。(デフォルト: 3回)

仮認証制限期間: 仮認証の上限回数を超えた場合の制限時間を指定します。
(デフォルト: 1440分<1日>)

※設定変更にはPOPCHATの再起動が伴いますのでご注意ください。

仮認証制限……………認証を完了せずに何度も仮認証を繰り返した場合、設定した上限回数を超えた段階で「**仮認証の上限回数を超えています**」というエラーが表示され、制限時間の間、対象の端末は認証が行えなくなります。

2. @クラウド設定の変更

接続管理タブの「@Cloudサービス」にてIPアドレスとHTTPSのチェック項目を廃止しました。

■@Cloudサービス

アカウントID パスワード

※は必須項目ですので必ず入力して下さい

認証サーバ (FQDN) ※

【@Cloudサービス設定】

アカウントID : @CloudサービスのアカウントIDを指定します。

パスワード : @Cloudサービスのパスワードを指定します。

※アカウントID、パスワードが正しくない場合、認証サーバ(FQDN)は設定されません。

認証サーバ(FQDN) : @Cloudサービスのサーバ(クラウド認証エンジン)のFQDNを指定します。

■ 仮認証制限を解除する

上記設定画面にて何も変更しない状態(パスワードは必要となります)で「更新」ボタンを押下すると、全ての端末の仮認証制限は解除され、仮認証回数も「0」からのカウントとなります。

※更新ではPOPCHATの再起動は伴いません。

3. 認証上限グラフの表示

ネットワーク監視タブの「監視状況」にてPOPCHAT上の認証上限を表示いたします。

■ 監視状況

ホスト	サービス	状態	チェック時刻	状況説明
_U001000300P	[Net] ActiveUser	OK	11-18-2020 13:39:18	1/1 ActiveUser OK - active 1 users
	[Net] AuthLimit	OK	11-18-2020 13:38:40	1/1 AuthLimit OK - 5
	[Net] AuthLimit@Cloud	OK	11-18-2020 13:39:02	1/1 AuthLimit@Cloud OK - 2
	[Net] DNS	OK	11-18-2020 13:37:24	1/3 OK DNS - 127.0.0.1 reply answer
	[Net] Session	OK	11-18-2020 13:38:46	1/1 Session - (71)
	[Net] Traffic	OK	11-18-2020 13:39:08	1/1 Traffic - TX 168bps, RX 480bps

(以下青字箇所が今回の追加箇所です)

監視項目	監視内容	CRITICALの閾値
[Net] Active User	インターネット接続中の利用者数	—
[Net] AuthLimit	認証された利用者数 (POPCHAT上の接続件数)	POPCHATの認証上限に達した場合

[Net] AuthLimit@Cloud	認証された利用者数 (@Cloudサービス上の接続件数)	@Cloudサービス上の認証上限に達した場合
[Net] DNS	DNSサーバの応答監視	DNSサーバから応答がない場合
[Net] Session	全体、および1利用者あたりのセッション数	利用者のセッション数が「オプション設定-セッション制限」の"1利用者あたりセッション数の上限(2)"を超えた場合
[Net] Spam	1利用者あたりのメール送信数 ※「オプション設定-スパム制限」が有効な場合のみ表示	利用者のメール送信数が「オプション設定-スパム制限」の"1利用者あたりメール送信の上限"を超えた場合
[Net] Traffic	全体、および1利用者あたりのトラフィック	利用者のトラフィックが「オプション設定-帯域制限」の"1利用者あたり帯域使用量の上限"を超えた場合
[ping] XXXX	「監視設定」画面で登録した監視対象の死活監視	監視対象からping応答が正常に返らない場合

4. その他

@クラウドアカウントが適切に設定されていない場合、@クラウドへの認証登録／認証解除の処理が溜まり、内部プロセスにて処理遅延が発生する不具合を改修。



POPCHAT株式会社

東京本社 : 東京都豊島区東池袋3丁目20-3

九州開発センター : 福岡市博多区住吉2丁目8-1

顧客サポート : 大阪市淀川区西中島5丁目5-15